

申込方法

- 申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにて右記「申し込み・お問い合わせ先」の各事務所へお送りください。なお、短期特別コースは申込時に別途QC検定2級以上の合格証の複写が必要です。申込書と共に郵送又はFAXにてお送りください。
- 専修科コースと力量維持・向上コースは当協会のウェブサイト (<http://www.jsa.or.jp>) からもお申込みいただけます。

お知らせ

1. お申込みいただいた方には、開講約1ヶ月前に受講券・請求書・受講のご案内を送付します。
2. 受講料は、前納をお願いします。セミナー開催前日までに入金確認できなかった際には参加をお断りさせていただく場合がございます。
3. 各コースとも定員になり次第、締め切ります。
4. 受講料は欠席されても、原則として返金いたしませんので予めご了承ください。
5. 最低開催人数に達しない場合、中止する場合がございます。
6. 本人の都合が悪い場合は、代理の方のご参加をお願いします。やむを得ず、お客様の都合でキャンセルされる場合にはFAXでお知らせさせていただきますようお願いいたします。なお、その際にはキャンセル料を申し受けます。  
 [キャンセル料] 7日前～2日前キャンセル…受講料の 20%  
 前日～当日キャンセル…受講料の 70%  
 ご連絡がなかった場合…受講料の100%

送金方法

1. 受講のご案内に、請求書を同封させていただきますので、開講日までに郵便振替/銀行振込のいずれかにてご送金ください。なお、請求書が事前に必要な場合は、申込書送付時にその旨お知らせください。
2. 郵便振替、銀行振込で送金の場合、振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。予めご了承ください。
3. 振込手数料は貴社にてご負担ください。
4. 他のセミナー受講料等とあわせ、一括送金される場合は、恐れ入りますが送金内訳をお知らせください。

申し込み先

札幌・仙台・さいたま・東京・静岡・名古屋  
 会場→本部 Fax. 03-4231-8675  
 .....  
 大阪・岡山・広島・福岡・鹿児島  
 会場→関西支部 Fax.06-6222-3255

お問い合わせ先

**本部 研修事業グループ (北海道・東北・関東地区)**  
 〒108-0073 東京都港区三田3丁目13-12 三田MTビル  
 TEL (03)4231-8570 FAX (03)4231-8675  
 .....  
**名古屋支部**  
 〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目6-1 RT白川ビル内  
 TEL (052)221-8316 FAX (052)203-4806  
 .....  
**関西支部 (関西・四国地区)**  
 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX高麗橋ビル7階  
 TEL (06)6222-3137 FAX (06)6222-3255  
 .....  
**広島支部**  
 〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル内  
 TEL (082)221-7023 FAX (082)223-7568  
 .....  
**福岡支部**  
 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 博多アーバンスクエア内  
 TEL(092)282-9080 FAX(092)282-9118

JIS登録認証機関協議会 (JISCBA) 講習会基準 準拠

# 2015年度 JIS品質管理責任者セミナー 下半期版

## 専修科コース(9日間) 短期特別コース(2日間) 力量維持・向上コース(1日)

近年の製品品質に関わる事件・事故に鑑み、JISマーク製品の信頼性を確保するために品質管理責任者の役割が益々重要になってきております。このためJIS登録認証機関協議会 (JISCBA:国により登録された民間の第三者機関(登録認証機関)で構成)では、この品質管理責任者養成のための「講習会基準」を作成し、公開しています (<http://www.jsa.or.jp/jiscba/top.asp>)。当協会のJIS品質管理責任者セミナーは、このJISCBA講習会基準に準拠しており、これまでに多くの方々にご受講いただいております。(\*)

品質管理責任者を目指す方、また品質管理・標準化担当者の養成を希望される方へ、本セミナーの活用を強くお勧めします。

(\*)当協会では、工業標準化法に基づき1981年(昭和56年)に通商産業省(当時)の告示を受けて以来、品質管理責任者を目指す方々の養成のために、旧制度では「工業標準化品質管理推進責任者講習会」を、現在は「JIS品質管理責任者セミナー」を実施しております。

JISマーク表示認証制度は2008年9月末に旧制度が終了し、同年10月1日より現行制度に完全移行しました。この制度では、従来の「工業標準化品質管理推進責任者」に相当する職務を遂行するために「品質管理責任者」を置くことが要求されていますが、この品質管理責任者に求められる(品質管理に関する)能力(力量)について、経済産業省は、「旧制度の工業標準化品質管理推進責任者に求められる基準とほぼ同等」と説明しています。【2005年3月30日に公布された省令(日本工業規格への適合性の認証に関する省令)によって、新たな「品質管理責任者」の能力(力量)に関する規定が公表されています。】

受講のご案内

- 新たに「JISマーク表示認証制度における品質管理責任者」を目指す方
- 品質管理や標準化に関する知識の習得を目指す方

普通科コース(22日間)

品質管理責任者に求められる知識や、高度な統計解析の手法を学ぶことができます。

専修科コース(9日間)

品質管理責任者に求められる知識(工業標準化、品質管理、社内標準化等)を一から学ぶことができます。

短期特別コース(2日間)

品質管理責任者に求められる知識(工業標準化、社内標準化等)を短時間で集中的に学ぶことができます。

- 現在JIS品質管理責任者の方
- 今後JIS品質管理責任者になる可能性があり、JIS品質管理責任者の実務についての理解を深めたい方

過去に「工業標準化品質管理推進責任者(IQC)講習会」を修了し、IQCフォローアップコースを受講できなかった方

- 旧普通科コース(25日間)
  - 旧専修科コース(10日間)
  - 旧短期専修科コース(3日間)
- 上記いずれかのコース修了者

リニューアル

力量維持・向上コース(1日)

品質管理責任者に求められる役割や能力、最近のJIS制度を取り巻く状況について学習することができます。また、旧IQC講習会の修了者が当コースを修了すると、現在のJISマーク制度で要求されている知識を習得できます。  
 ~当コースの内容は「講習会基準」の中で3年に1回以上受講することが推奨されています~

- JISマーク表示認証制度に対応したコースとして、専修科コース9日間よりも多くの内容を学習できる普通科コース(22日間)(QSS)もございます。詳細については、当協会HP(<http://www.jsa.or.jp/>)をご覧ください。

.....キリトリ線.....

申込書 JIS品質管理責任者セミナー

日本規格協会 本部 (Fax:03-4231-8675) 宛  
 関西支部 (Fax:06-6222-3255)

該当コースに○をつけてください

<input type="checkbox"/>	専修科コース(9日間)
<input type="checkbox"/>	短期特別コース(2日間)
<input type="checkbox"/>	力量維持・向上コース(1日)

ご希望される開催日時をご記入ください

月 日 開催

お申込開催地をご記入ください

\*☆印は、空欄のままご記入ください。

維持会員番号	受講券の送付先	●派遣責任者に送付 ●受講者に送付	●その他 ( )	セミナーコード ☆
会社名	所在地	〒	tel	fax
派遣責任者 氏名	所属部署・役職			
受講No.☆	受講者氏名(ふりがな)	所属部署名・役職		

力量維持・向上コースへお申し込みの方は、ご記入ください。

過去に修了されたセミナーを○で囲んでください。	JIS品質管理責任者について(該当するものを○で囲んでください)
旧IQC(IQCフォローアップコース未受講...●旧専修科(10日間) ●短期専修科(3日間) ●旧普通科(25日間) ●旧IQC(IQCフォローアップコース受講済) ●専修科コース(9日間) ●短期特別コース(2日間) ●普通科コース(22日間) ●力量維持・向上コース(1日)	●現在担当している ●今後担当予定 ●未定
上記コースの修了番号をご記入ください。	(例:NJ-QMR-O-1-10)

\*維持会員の方は会員番号をご記入ください。

\*ご記入いただきました情報に基づき、当協会からセミナーや書籍等のご案内を送付させていただく場合がございます。

新たに「JISマーク表示認証制度における品質管理責任者」を目指す方

JIS品質管理責任者セミナー 専修科コース(9日間)

本コースは、これから「JISマーク表示認証制度における品質管理責任者」に求められる能力(力量)を得ようとされる方々のためのコースで、2005年以前の「工業標準化品質管理推進責任者講習会 専修科コース(10日間)」に相当するコースです。(JISCBA講習会基準で規定されている時間を確保しつつ、日程を9日間に変更しました。)コース修了者には「修了証書」と「修了カード」を発行します。2ヶ月間での集中開催や、中国大連市での開催も予定しております。

受講対象

- JISマーク表示認証制度で求められる「品質管理責任者」の力量を身に付けたい方
- 品質管理・標準化の基礎を習得したい方

講師

日本規格協会講師グループ

修了条件

- (1)同一人による出席率が80%以上
- (2)宿題の提出 (3)修了テストに合格
- (注)テスト不合格者は、講習期間終了後一年以内に限り、その後に開催するコースのテストを再受験できます。なお、再受験一回につき再受験料3,240円(消費税8%含む)を別途申し受けます。

受講料(1名)

維持会員:108,000円(消費税込)  
一般:120,960円(消費税込)

プログラム

時間	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30
1日目	工業標準化 (試験所認定制度及び製品認証を含む)				品質管理とは	管理のいろいろ	統計的な考え方		
2日目	改善活動におけるデータの役割	サンプリングとデータ	母集団を推測するための解析		データを整理し、視覚化する方法	重点指向の考え方	結果と原因の関係把握	品質管理演習(1)	
3日目	時系列グラフを用いた管理	2変数の関係の把握(1)	2変数の関係の把握(2)		統計的方法の基礎(1)	統計的方法の基礎(2)	品質管理演習(2)		
4日目	社内標準化				社内標準化			宿題解説	
5日目	時系列データとその管理	工程の解析(1)	工程の解析(2)		工程の解析(3)	工程の安定状態の判定	時系列データ解析の応用	品質管理演習(3)	
6日目	検査とは	抜取検査(1)	抜取検査(2)		特論 (事例研究等)		製品試験とJIS Q 17025		
7日目	社内標準化				社内標準化(製品試験とJIS Q 17025)			宿題解説	
8日目	工程の管理と改善	工程の改善の取り組み(1)	工程の改善の取り組み(2)		工程の改善の取り組み(3)	工程の管理の取り組み(1)	工程の管理の取り組み(2)	工程の管理の取り組み(3)	
9日目	品質保証		修了試験(90分間)		JIS受審準備/品質管理責任者の心構えと役割				

※会場により、時間に変更になる場合がございます。  
 ※専修科コース、短期特別コースのカリキュラムは、JIS Q 1001で定められた品質管理責任者に求められる標準化と品質管理の知見(\*)を網羅したものとなっております。  
 【\*参考…JIS Q 1001:2009 適合性評価 ー日本工業規格への適合性の認証ー 一般認証指針/付属書B(規定)品質管理体制の審査の基準 B.1審査の基準(A)の「5.」の「ロ」より】  
 (1)略  
 (2)品質管理責任者は…(中略)…又はこれに準ずる標準化と品質管理に関する科目の講習会の過程を修了することにより標準化及び品質管理に関する知見を有すると認められる者であること。  
 注 標準化と品質管理の知見については、次のような例があげられる。

- a)工業標準化 工業標準化の概要、JISマーク表示制度とその目的、品質管理責任者の役割など
- b)品質管理 1) 統計的考え方、2)統計的工程管理、3)サンプリング、4)抜取検査、5)問題解決法
- c)社内標準化 社内標準化の概要、社内標準化の進め方など
- d)JISマーク表示制度における製品試験とJIS Q 17025 JIS Q 17025の要求事項、不確かさ、測定の特レーサビリティ、試験所認定制度など

地区名	開催日			開催都市	地区名	開催日			開催都市
関東	第5回	2015年 10月14日(水)~10月16日(金)	2015年 11月18日(水)~11月20日(金)	東京	関西	第4回	2015年 11月 4日(水)~11月 6日(金)	2015年 11月24日(火)~11月26日(木)	大阪
	第6回	2016年 1月20日(水)~1月22日(金)	2016年 2月24日(水)~2月26日(金)	東京		第5回	2016年 1月18日(月)~1月20日(水)	2016年 2月 8日(月)~2月10日(水)	大阪
北海道	第2回	2015年 12月 9日(水)~12月11日(金)	2016年 1月13日(水)~1月15日(金)	札幌	中国	第3回	2016年 1月20日(水)~1月22日(金)	2016年 2月16日(火)~2月18日(木)	岡山
東北	第3回	2016年 1月13日(水)~1月15日(金)	2016年 2月 8日(月)~2月10日(水)	仙台	九州	第3回	2015年 10月 5日(月)~10月 7日(水)	2015年 11月16日(月)~11月18日(水)	鹿児島
中部	第3回	2015年 10月 7日(水)~10月 9日(金)	2015年 11月11日(水)~11月13日(金)	名古屋		第4回	2016年 1月20日(水)~1月22日(金)	2016年 2月17日(水)~2月19日(金)	福岡
	第4回	2016年 1月12日(火)~1月14日(木)	2016年 2月17日(水)~2月19日(金)	名古屋					

品質管理検定(QC検定)2級以上に合格されている方

JIS品質管理責任者セミナー 短期特別コース(2日間)

本コースは、受講条件として品質管理検定(QC検定)2級又は1級に合格されていることが必要となります。「JISマーク表示認証制度における品質管理責任者」に求められる品質管理に関する知識をお持ちの方を対象とした、2日間の短期コースです(JISCBA講習会基準準拠)。コース修了者には、専修科コースと同様に「修了証書」と「修了カード」を発行します。

受講対象

品質管理検定(QC検定)の2級以上に合格された方  
(お申し込みの際にQC検定2級以上の合格証の複写が必要です。)

受講料(1名)

維持会員:51,840円(消費税込)  
一般:57,240円(消費税込)

講師

日本規格協会講師グループ

修了条件

- (1)同一人による出席率が100%
- (2)修了テストに合格
- (注)テスト不合格者は、講習期間終了後一年以内に限り、その後に開催するコースのテストを再受験できます。なお、再受験一回につき再受験料3,240円(消費税8%含む)を別途申し受けます。

プログラム

時間	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	17:00
1日目	工業標準化		休憩	社内標準化 (一部JISマーク制度と製品試験を含む)		
2日目	工業標準化 (JISマーク制度と製品試験)	修了テスト (60分間)	休憩	工業標準化特論 (JIS申請概論等)	修了式	

品質管理検定(QC検定)は、品質管理に関する知識をどの程度持っているかを全国で筆記試験を行って客観的に評価を行うものです。詳しくはホームページ(<http://www.jsa.or.jp/kentei/qc/qc-top.asp>)をご覧ください。

JIS品質管理責任者の方:3年に1回以上のご受講を強くお勧めいたします

ー2013年リニューアルー JIS品質管理責任者セミナー 力量維持・向上コース(1日)

JISマーク製品の信頼性を確保するために、品質管理責任者が企業の中で果たすべき役割は非常に大きなものです。その役割を果たすためには継続的な学習や情報収集が不可欠ですが、自主的な勉強だけでは身に付けられる内容に限りがあります。本コースはJIS品質管理責任者に求められる知識や能力について、また最近のJIS制度を取り巻く状況について学習することができる1日のコースです。コース修了者には、「修了カード」を発行します。これまでに受講いただいた方に好評だった、ケーススタディを全面リニューアルし、2度目の受講でも新たにとり組めます。

受講対象

- JIS品質管理責任者の方
- 今後JIS品質管理責任者になる可能性があり、JIS品質管理責任者の実務についての理解を深めておきたい方
- 旧JIS制度のセミナーを修了しているが、IQCフォローアップコースを受講できなかった方  
~当コースの内容は「講習会基準」の中で3年に1回以上受講することが推奨されています~
- 2012年以前に本コースを受講された方

受講料(1名)

維持会員:17,280円(消費税込)  
一般:19,440円(消費税込)

講師

日本規格協会講師グループ

プログラム

地区名	開催日			開催都市	地区名	開催日			開催都市
関東	第6回	2015年 10月 2日(金)	東京	中部	第2回	2015年 10月 30日(金)	名古屋		
	第7回	2015年 12月 4日(金)	東京		第3回	2016年 1月 22日(金)	名古屋		
	第8回	2016年 2月 5日(金)	東京		第3回	2016年 2月 17日(水)	大阪		
	第9回	2016年 2月 19日(金)	静岡		第3回	2015年 10月 28日(水)	広島		
	第10回	2016年 2月 29日(月)	さいたま		第4回	2016年 1月 29日(金)	広島		
北海道	第2回	2016年 1月 28日(木)	札幌	九州	第3回	2015年 10月 22日(木)	福岡		
東北	第3回	2016年 2月 8日(月)	仙台		第4回	2016年 2月 2日(火)	福岡		

時間	9:30	11:00	12:30
	JISマーク表示制度と JIS品質管理責任者の責務と力量		品質管理責任者に求められる役割 (ケーススタディ)
(昼食休憩)			
時間	13:30	15:00	16:30
	品質管理責任者に求められる役割 (ケーススタディ、グループワーク)		理解度チェック・質疑応答